

大石 賢玄 氏 学位審査結果の要旨

主査：岡崎 和一

副査：中邨 智之、螺良 愛郎

本研究では、難治性疾患である潰瘍性大腸炎と類似する DSS 誘発性ラット腸炎モデルを用いて、直腸粘膜における TNF- α と iNOS mRNA が急性期の重症度、CINC-1 と IL-6 が急性～慢性期のバイオマーカーとなりうることを明らかにした。さらに Fluvastatin 投与により、これらサイトカインの発現抑制を介して腸炎の軽減することを発見し、新規治療薬となる可能性を見出した。以上より本研究は学位に値すると考えられた。